

2021年度関西女子学生バスケットボールリーグ戦 反省

■ 収入

【チーム参加費・広告料】 参加費 … 5,700,000円 (参加校: 50校)

*広告料単価 2019年度より10,000円UP

2019年度リーグ戦参加費 … 5,460,000円 (参加校: 52校)

2020年度交流大会参加費 … 1,340,000円 (参加校: 43校)

【パンフレット】 チーム一括+Web一般売り上げ 合計 6,284,600円

*印刷費￥737,000円 1000部

チーム一括 … 485,600円 (607冊×@800円)

2019年度リーグ戦チーム一括 … 546,400円 (683冊×@800円)

2020年度交流大会チーム一括 … 381,000円 (635冊×@600円)

Web一般 … 99,000円 (90冊×@1,100円) 11/11現在

2019年度リーグ戦一般 … 205,000円 (205冊×@1,000円)

2020年度交流大会Web一般 … 65,600円 (82冊×@800円)

【総括】

- ① 無観客試合の為、一般パンフレットをWeb販売方式にした。
- ② パンフレットWeb販売は、好評でかつ定着されてきたので、今後は会場販売と並行して実施する。
- ③ 日程変更と各部の開催日が重なることによって、複数の会場のため、審判確保がより困難となり、割り当て決定及び審判料の確定がギリギリで、審判料等の両替が困難となつた。
- ④ 体育館使用料が高額となった。体育館確保には連盟全体で取り組む問題であり試合会場に似合った会場確保及び使用方法を再確認したい。
- ⑤ 広告料の減収を改善するためには、あたらしい広告媒体を検討する時期にきてることを実感した。

以上